

# 横暖ルーフ

工 法

新築

下 地

耐水合板

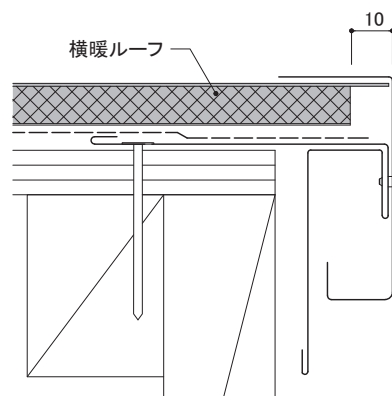
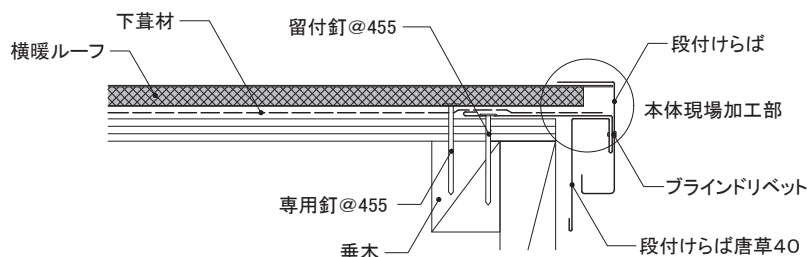
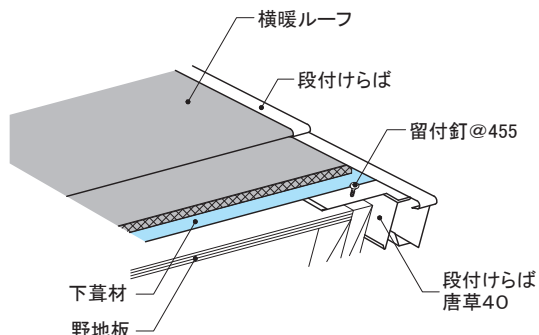
構造

木造

## 4) けらば部

## ③ 段付けらば唐草40 + 段付けらば

- 野地板の上に、段付けらば唐草40を留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32mm以上）を用いて、455mm以下の間隔で留め付けます。
- 下葺材を張り、横暖ルーフ本体は専用釘（ステンレススクリュー釘φ2.3mm×50mm）を用いて、455mm以下の間隔で垂木に留め付けます。
- 段付けらばは、けらば小口にかぶせるように取り付けます。その際、軒先から段付けらば軒先を施工し、以降段付けらばを使用して施工します。
- 段付けらば軒先および段付けらばは、側面の穴からブラインドリベットで留め付けます。

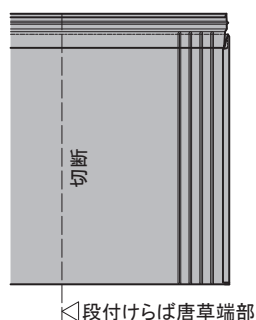


部分断面図

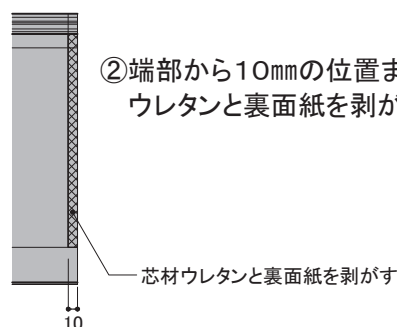
### ■ 施工ポイント・本体現場加工図

- 横暖ルーフ本体のけらば部分は図のように加工します。

① 段付けらば唐草の端部となる位置を切断します。



② 端部から10mmの位置まで芯材のウレタンと裏面紙を剥がします。



- 段付けらばは図のように軒先からかぶせるように取り付けます。軒先は必ず小口付きの「段付けらば軒先」を使用します。

※「段付けらば軒先」、「段付けらば」は形状が左右で逆になります。必ずご確認の上、施工してください。

